

(2) レジ袋削減からの新たな取組の展開について

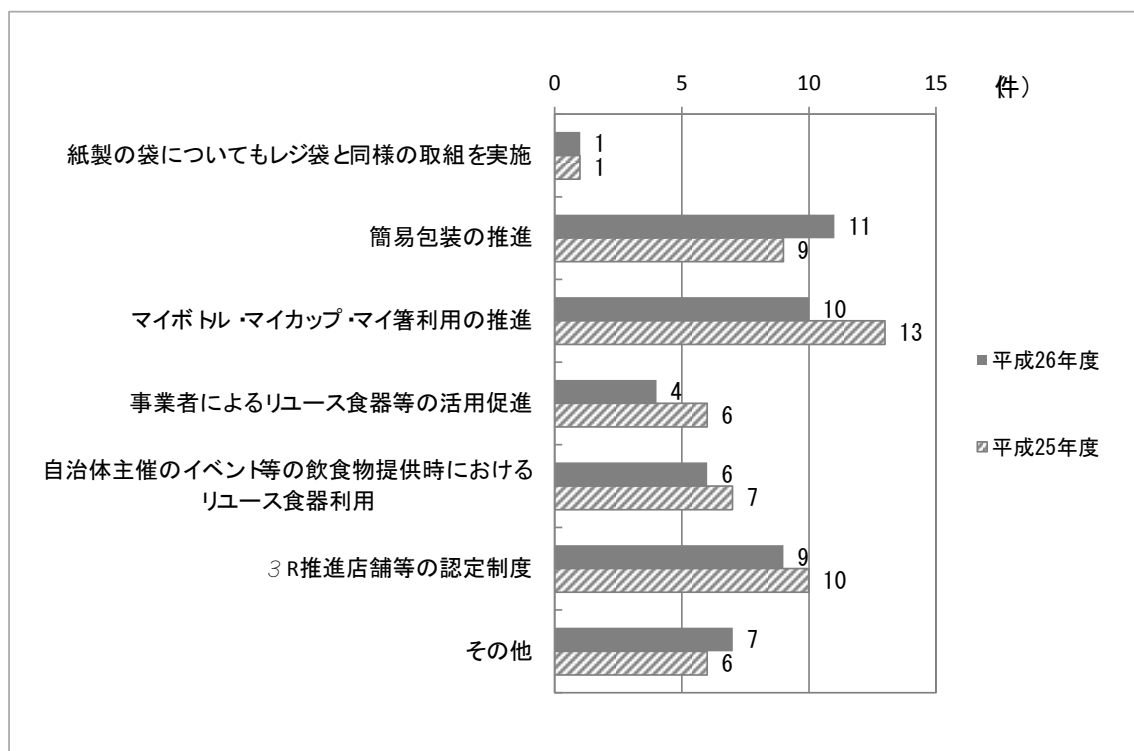
■今年度の特徴

「簡易包装の推進」が最も多く、次いで「マイボトル・マイカップ・マイ箸利用の推進」が続いている。

■トレンド

「簡易包装の推進」が増加、「マイボトル・マイカップ・マイ箸利用の推進」は減少傾向にある。

新たな取組の展開について（複数回答）（都道府県）



- 「簡易包装の推進」が11件、「マイボトル・マイカップ・マイ箸利用の推進」が10件、「3R推進店舗等の認定制度」が9件、「自治体主催のイベント等の飲食物提供時におけるリユース食器利用」が6件、「事業者によるリユース食器等の活用促進」が4件、「紙製の袋についてもレジ袋と同様の取組を実施」が1件、「その他」が7件となっている。
- 「その他」の内容としては、次のとおり。

自治体	取組内容
山梨県	本県では、日常生活の中で実践できる7つのエコ活動（マイバッグ運動、マイはし運動、マイボトル運動、リユースびん運動、エコドライブ運動、緑のカーテン運動、環境家計簿運動）を「やまなしエコライフ県民運動」として提唱し、県民一人ひとりがこの運動への参加を通じて、環境にやさしいライフスタイルへの転換を図ることにより、循環型社会の実現や地球温暖化対策を推進する事業を実施している。 ・参加団体の募集：7つのエコ活動のうち1つ以上に取り組む参加団体を募集・登録し、県のホームページで取り組み内容を公表している。 ・推進店の募集：県民のエコ活動を支援する推進店（マイバッグ推進店、マイはし／リユースはし推進店、マイボトル推進店、リユースびん推進店等）を募集・登録して、県のホームページ等で公表するとともに、推進店の積極的な利用を呼びかけている。 ・リユースびん運動として、リユースびん入り商品の積極的な購入や空きびんの販売店への返却を呼びかけている。
宮崎県	県が推奨する4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）の取組も含めた総合的な普及啓発活動を実施します。
徳島県	エコイベント認定 多くの人が集まるイベントで、環境配慮の取り組みをおこなうものを「エコイベント」として認定しており、この中でリユースカップ・食器を導入するイベントの取り組みを県HPでアピールしている。
宮城県	協定を締結していた団体と、協同で行える取組について検討を行っている。
香川県	グリーンコンシューマー10カ条の啓発
長野県	レジ袋などの容器包装廃棄物の削減も含めたごみ減量の取組として、県民1人1日あたりのごみ排出量800グラムを目指す「“チャレンジ800”ごみ減量推進事業」を平成27年度から計画している。 まずは、県職員自らが家庭で生ごみを減らす活動に取り組むとともに、県民みなで「ダンボールコンポスト」や「生ごみの水切り」、「食品ロス削減」等のごみ減量化に取り組む予定。
鹿児島県	平成23年度までは九州地方知事会政策連合の「ごみ減量化に向けた啓発活動の連携」の一環として、「九州統一マイバッグキャンペーン」を実施していたが、平成24年度はごみ減量化の全般に関する取組に拡大させ、「ごみゼロ九州キャンペーン」を実施し、平成25年度からは、壊れたものを修理して長く使う、リペアを推奨する取組として、「九州まちの修理屋さん」事業を実施している。